

箴言 11 第 29 章「幻がなければ民は墮落する」 18 節

2019/01/23 聖書研究会

1. 【箴言全体に響く中心的メッセージ】

「1:7 主を畏れることは知恵の初め。」

2. 25～29 章は箴言の第 4 部（ソロモンの第 2 格言集）とされる（新共同訳注解）

「ユダの王ヒゼキヤのもとにある人々が筆写した。」 25:1

北王国イスラエル滅亡後（BC722/721）、南王国ユダではヒゼキヤが即位した（715 頃）。

この頃、ユダには北王国から亡命してきた知識人

が多数いたと思われ、ヒゼキヤ王は彼らを用いて、北王国の由来の格言集を編集したと推測される（新共同訳注解）。



イザヤ書の巻物

3. 興味深いいくつかの言葉

「25:11 時宜にかなって語られる言葉は／銀細工に付けられた金のりんご。」

「25:17 友人の家に足を運ぶのはまれにせよ／飽きられ、嫌われることのないように。」

「25:24 いさかいの好きな妻と一緒に家にいるよりは／屋根の片隅に座っている方がよい。」

「25:26 泉が踏み汚され、水源が荒らされる。」

「27:6 愛する人の与える傷は忠実さのしるし／憎む人は数多くの接吻を与える。」

「27:17 鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。」

「27:23 あなたの羊の様子をよく知っておけ。群れに心を向けよ。」

「28:13 罪を隠している者は栄えない。告白して罪を捨てる者は憐れみを受ける。」

「29:7 神に従う人【義人】は弱者の訴えを認める。神に逆らう者【邪悪な者】者はそれを認めず、理解しない。」

4. 「幻がなければ民は墮落する」 29:18

חזון

khaw-zone

幻、ビジョン、啓示——神が示してくださる将来の現実

これによって希望をもって前に向かって生きて行くことができる。

ドロテー・ゼレ『幻なき民は滅ぶ——今、ドイツ人であることの意味』（新教出版社、1990）

5. 幻・将来の希望の約束

「32:15 ついに、我々の上に／霊が高い天から注がれる。荒れ野は園となり／園は森と見なされる。16 そのとき、荒れ野に公平が宿り／園に正義が住まう。

17 正義が造り出すものは平和であり／正義が生み出すものは／とこしえに安らかな信頼である。

18 わが民は平和の住みか、安らかな宿／憂いなき休息の場所に住まう。」イザヤ 32:15-18

「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」エレミヤ 29:11

「2:16 そうではなく、これこそ預言者ヨエルを通して言われていたことなのです。

17 『神は言われる。終わりの時に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。

18 わたしの僕やはしたためにも、そのときには、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。」使徒言行録 2:16-18

「22:1 天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。2 川は、都の大通りの中央を流れ、その両岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実をみのらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。」ヨハネの黙示録 22:1-2